

10/2  
Mon.

主催 エネルギー価値学創生研究推進拠点  
共催 東北大学グリーン未来創造機構  
東北大学大学院環境科学研究科



TOHOKU  
UNIVERSITY

# 東北大学 エネルギー シンポジウム

## 東北大学が描くGX エネルギー価値学が導く 持続可能な未来への成長戦略

温室効果ガスを発生させる化石エネルギー中心の産業・社会構造を、クリーンエネルギー中心へと転換することを目指すGX(グリーントランスフォーメーション)。今世界では、GXに関する技術革新・政策競争が加速しています。

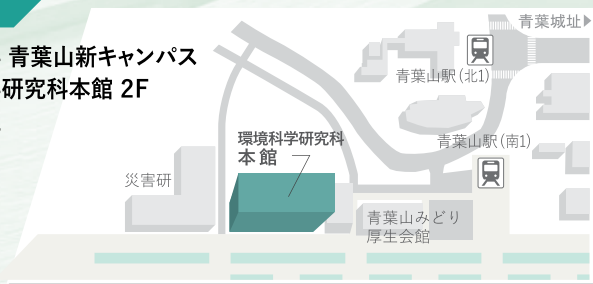
これに先立ち東北大学では、エネルギーに関する様々な研究の推進と社会実装を目指して「エネルギー価値学創生研究推進拠点」を2019年に立ち上げ、活動しています。

今年のシンポジウムでは、地域や民間から始まる脱炭素・水素利活用による強靱な社会の実現、環境と経済の好循環の実現について皆さんと考えたいと思います。

東北から始まる新しいエネルギー価値学に是非ご期待下さい。

### 会場

東北大学 青葉山新キャンパス  
環境科学研究科本館 2F  
大講義室



参加対象 自治体、学生、一般(参加無料)

開催方法 対面で開催いたします。  
9月30日までに下記QRコードより申し込みください



### お問い合わせ

東北大学大学院環境科学研究科  
環境研究推進センター

E-mail: [noriko.konno.a1@tohoku.ac.jp](mailto:noriko.konno.a1@tohoku.ac.jp)

- 13:30 開会
- 13:35 「東北大学Green Goals Initiativeについて」  
湯上 浩雄  
東北大学 副理事(グリーン未来担当)  
グリーン未来創造機構 機構長
- 13:45 「水素社会と東京ガスの  
カーボンニュートラルの取り組み」  
矢加部 久孝  
東京ガス株式会社 執行役員  
グリーントランスフォーメーションカンパニー  
水素・カーボンマネジメント技術戦略部長
- 14:15 「南アフリカにおける炭酸塩鉱物化を利用した  
カーボンリサイクルシステムの開発」  
飯塚 淳  
東北大学 大学院 環境科学研究科 教授
- 14:35 休憩
- 14:45 「薪炭林の活用による熱の地産地消の  
実践と蓄電池材料の開発」  
中安 祐太  
東北大学 学際科学フロンティア研究所 助教  
工学研究科附属超臨界溶媒工学研究センター(兼任)
- 15:05 「気候変動による災害リスクと蓄電池システムの便益  
：停電回避の社会的便益はいくらか？」  
日引 聡  
東北大学 大学院 経済学研究科 教授  
東北大学 政策デザイン研究センター センター長  
国立環境研究所 環境経済評価連携研究グループ グループ長
- 15:25 総括  
土屋 範芳  
エネルギー価値学創生研究推進拠点 拠点長  
八戸工業高等専門学校 校長  
東北大学 大学院 環境科学研究科 教授
- 15:40 閉会